

土木学会 鋼構造委員会

平成 15・16 年度第 9 回幹事会 兼 平成 17・18 年度第 1 回幹事会 議事録（案）

日 時：平成 17 年 6 月 16 日（木） 14:00～17:00

場 所：土木学会、A 会議室

出席者：

【平成 15・16 年度】長井委員長、角副委員長、森幹事長、大垣、田中、野澤、堀田、本間、村越、柳本、山口、山本

【平成 17・18 年度】依田委員長、市川副委員長、森幹事長、大鳥、小西、佐々木、野澤、本間、向山、村越、山口

【事務局】佐々木

配布資料：

議事次第

No.幹 1-1-1 平成 15・16 年度鋼構造委員会幹事会名簿

No.幹 1-1-2 平成 17・18 年度鋼構造委員会幹事会名簿

No.幹 1-2-1 土木学会委員会規定

No.幹 1-2-2 鋼構造委員会内規

No.幹 1-2-3 鋼構造委員会運営要領

No.幹 1-2-4 鋼構造委員会による土木学会田中賞等の候補推薦に関する内規

No.幹 1-2-5 鋼構造委員会委員長候補者選出制度内規および関連書類

No.幹 1-2-6 平成 17 年度鋼構造委員会予算関係

No.幹 1-2-7 小委員会一覧および小委員会活動報告書の雛形

No.幹 1-3 鋼構造委員会（平成 15・16 年度 第 4 回）議事録（案）

No.幹 1-4 第 8 回鋼構造と橋に関するシンポジウム

No.幹 1-5 委員会講演テーマ、橋シンポテーマ、研究討論会テーマ、その他検討事項

No.幹 1-6 幹事役割分担

No.幹 1-7-1 平成 15・16 年度 鋼構造委員会活動スケジュール

No.幹 1-7-2 平成 17・18 年度 鋼構造委員会活動スケジュール案

No.幹 1-8 「木橋技術に関する小委員会」の設立趣意書

No.幹 1-9 継続教育システムの電子化に伴う事務局作業について（お願い）

議 事：

1. 前委員長挨拶、新委員長挨拶

平成 15・16 年度の長井委員長、平成 17・18 年度の依田委員長から挨拶がなされ、長井委員長より感謝の意が述べられ、また、依田委員長より抱負が述べられた。

2. メンバー自己紹介（資料 幹 1-1-1 および幹 1-1-2）

平成 15・16 年度の副委員長、幹事長、幹事、平成 17・18 年度の副委員長、幹事長、幹事から挨拶がなされた。

### 3. 鋼構造委員会と幹事会について（資料 幹 1-2-1～幹 1-2-5）

#### (1) 鋼構造委員会の運営に関わる規定について

森幹事長より、土木学会調査研究委員会規定、鋼構造委員会内規、運営要領、田中賞等の候補推薦に関する内規、委員長候補者選出制度内規が紹介された。

#### (2) 平成 17 年度の鋼構造委員会予算案について（No.幹 1-2-6）

森幹事長より、平成 17 年度の鋼構造委員会予算案が報告され、以下のことが確認された。

- ・ 浮体橋とケーブル系橋梁は小委員会の活動が実質的に終了し、出版委員会での活動に移行しているため、予算を 0 とした。座屈設計ガイドラインについても同様の位置付けであるが、活動期間である 4 月に使用した予算のみを計上している。
- ・ 標準示方書の小委員会は橋建協から、支持機能の小委員会は支承協会から補助金があるため、鋼構造委員会予算からの割当ては行っていない。
- ・ 荷重指針の連合小委員会については、4 つの委員会に関わることで、毎年の予算使用実績を踏まえて予算を割当てた。
- ・ 今年度中に新設の小委員会が設立された場合には、幹事会にて予算割当てを検討する。
- ・ 土木学会における昨年度の鋼構造委員会の評価が A であったことが紹介された。

#### (3) 小委員会の活動について（No.幹 1-2-7）

森幹事長より、小委員会の連絡幹事の役割について説明がなされた後、平成 15・16 年度の連絡幹事より口頭にて活動状況が紹介された。また、連絡幹事の主な役割について以下の説明があった。

- ・ 担当の小委員会には出来るだけ出席して欲しい。
- ・ 各小委員会の要望を鋼構造委員会へ伝える。
- ・ 幹事会において小委員会の活動報告を行う。

### 4. 議事録確認（平成 15・16 年度 第 4 回委員会）（資料 幹 1-3）

柳本幹事より、第 4 回鋼構造委員会の議事録（案）が読み上げられ、以下の修正を加えた後、承認されることとなった。

- ・ 配布資料のうち、4-6-1 関連学協会報告（鋼構造協会）を削除し、4-6-2 と 4-6-3 の番号を繰り上げる。
- ・ 議事の 2. で、書き出し位置の不揃いがあるため修正する。
- ・ 議事の 2. に、浮体橋および座屈設計ガイドラインの各小委員会の期間延長が認められた旨を追加する。記載内容は、3)のケーブル系橋梁の小委員会のそれに準じ、浮体を 2)とし、木橋以下を繰り下げる。
- ・ 議事の 2. 7) で、「適用して有効とある」を「適用して有効となる」に修正する。
- ・ 議事の 6. で、タイトルを「委員長、副委員長挨拶」とする。また、文章の書き出しは、「長井委員長、角副委員長より・・・」に変更する。
- ・ 議事の 8. 4) で、書き出しに不要なスペースがあるので削除する。また、「特異性がありこれを考慮した…」に読点を追加し、「特異性があり、これを考慮した…」とする。

- ・ 議事の 8. 6) の 2 番目については、「講演資料と論文集の区別方法について議論された」にとどめ、「また」以降は削除する。

## 5. 第 8 回橋シンポ役割分担（資料 幹 1-4）

森幹事長より、第 8 回橋シンポの実施計画が紹介され、以下のことが確認された。

- ・ 開会挨拶は依田委員長、鋼構造委員会の活動状況報告は森幹事長、閉会挨拶は市川副委員長が行う。
- ・ 司会者は、午前中を野澤幹事、午後の前半を佐々木幹事、午後の後半を向山幹事、懇親会を本間幹事とする。
- ・ 懇親会は土木学会の EF 会議室で実施する。
- ・ 講師対応は、本間幹事、小西幹事、大鳥幹事が担当する。
- ・ 受付に土木学会事務局佐々木氏+2 名を配置することとし、依田委員長より早稲田大学の学生にアルバイトをお願いする。
- ・ 大橋氏の題目が変更になっているため、当日配布するプログラムは最新の内容とする。
- ・ シンポジウム当日は、役割分担のある幹事（本間幹事、小西幹事、大鳥幹事）は 9:30 集合、その他の幹事は 10:00 集合を目安とする。
- ・ 原稿締切りは 6/30 であるため、この時点で原稿の提出がない場合には、学会事務局から催促を行う。
- ・ 資料の表紙には、後援者として橋建協と鉄鋼連盟を記載する。

## 6. 委員会講演、橋シンポ、研究討論会でのテーマ（資料 1-5）

森幹事長より、最近のテーマが紹介された後、以下のことが確認された。

- ・ 委員会での講演については、良いテーマがあれば 6 月中に森幹事長に連絡し、委員長・副委員長・幹事長が相談の上、決定する。二主桁橋の耐風設計（山田先生）、近々活動が終わる小委員会の報告などを候補として考える。道路橋示方書関係は、次々回あたりの候補とする。
- ・ 橋シンポおよび研究討論会については、次回の幹事会から検討を開始する。
- ・ 研究討論会については、幹事会でよい案がでなければ、小委員会に希望を尋ねることもあり得る。
- ・ 新しい小委員会の案を出して欲しいとの依頼があった。今年度終了する小委員会が幾つかあるため、今期中に 5~6 個は立ち上げたいと考えている。

## 7. 小委員会連絡幹事と幹事役割分担（資料 1-6）

### (1) 小委員会連絡幹事

- ・ 新任の幹事に以下の担当をお願いする。
  - 向山幹事：歴史的鋼橋、鋼構造継続教育
  - 佐々木幹事：残存耐荷性能、道路橋床版
  - 小西幹事：耐震補修・補強（新設）
  - 大鳥幹事：点検・モニタリング、振動・騒音環境負荷低減
- ・ 間もなく活動が終了する 4 つの小委員会の幹事（浮体橋：山本幹事、ケーブル系橋梁：奥井

幹事、座屈設計ガイドライン：堀田幹事、設計標準の国際化対応：田中幹事）については、前幹事に終了まで引続き担当して頂きたいとのお願いがあり、了承された。

## (2) 幹事の役割分担

- ・ 本日の幹事会では決定せず、委員長・副委員長・幹事長の協議にて分担案を検討する。
- ・ 山口幹事は、前年度の経験が活かせる委員長選挙の担当を希望する。
- ・ ホームページ担当については、前任者の堀田幹事に引継ぎをお願いする。
- ・ 空席となる土木学会関係の出版委員会は野澤幹事、継続教育は向山幹事が担当する。

## 8. 今後の活動・日程について（資料 1-7）

森幹事長より、今後の活動・日程が紹介され、以下のことを確認した。

- ・ 記載内容に若干不正確な事項があるため、これを見直した上で第 1 回委員会に提出する。
- ・ 次回幹事会は 10/19（水）14:30～、第 1 回委員会は 11/11（金）14:00～とし、場所はいずれも土木学会を予定する。

## 9. 新設小委員会（資料 1-8）

森幹事長より、木橋技術小委員会の設立趣旨書が紹介され、委員会の名称を見直していただいた上で第 1 回委員会に諮ることとした。

## 10. その他（資料 1-9）

- ・ 土木学会・技術推進機構の片山氏より、継続教育システムの電子化に伴う事務局作業について説明がなされた。これを受けて、各小委員会の最新名簿（小委員会名簿以外に、部会やワーキングなども含む）を電子ファイルで学会事務局の佐々木氏に提出することとなり、連絡幹事より各小委員会にその旨通知することとなった。
- ・ 片山氏より、継続教育システム(<http://www.jsce.or.jp/opcet/cpd.htm>)の利用を各部会で周知して欲しいとのお願いがあった。また、パスワードを忘れた場合には土木学会技術推進機構に電話で問い合わせる欲しいとのお願いがあった。

以 上